

- 石川県の森林は、県土の68% (286千ha)を占め、このうち国有林は34千haあります。
 民有林では、これまでに100千haの人工林が造成され、人工林率が4割となっています。一方、国有林の人工林率は8%と極めて低く、保安林、国立公園、国定公園などに指定され、国土保全、水源涵養等の公益的機能の発揮に寄与しています。
- 石川県との地域林政連絡会議では、下記のような地域との共通課題について情報提供を行うとともに、石川県からは森林・林業施策に係る予算の概要等の説明を受け、民国連携の取組に向けて意見交換を行いました。



(地域林政連絡会議)

技術開発と普及

【課題】 海岸林整備における技術の向上及び普及 (継続)

【取組状況】

- ・ 松くい虫被害跡地において、天然更新したクロマツ稚樹の健全育成についての試験を石川県林業試験場とで実施。
- ・ 第66回全国植樹祭への参画、海岸部国有林のPRIに繋がるイベント等の開催。

【成果と今後の課題】

- ・ 民有林との連携による効果的な海岸林の整備保全。
- ・ 森林環境教育やイベント等によるPRを実施。
- ・ 効率的な海岸林整備の技術開発と普及に向け、林業試験場との合同試験の継続により試験成果の蓄積や新たな技術開発に取り組む。



(天然更新したクロマツ稚樹)

森林生態系の保全

【課題】 猛禽類・ニホンジカの管理 (継続)

【取組状況】

- ・ 石川県白山自然保護センターとニホンジカ等の生息状況について、共同調査を実施。
- ・ 森林整備予定箇所付近での猛禽類調査を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 県のシカ生息数は増加傾向であり、生息状況の正確な把握等が必要。今後も関係機関が連携した情報共有や意見交換に取り組む。
- ・ 希少な猛禽類の繁殖のために必要な森林整備の実施が可能となった。今後も県等といっそう連携し情報把握に努める。



(自動撮影カメラで撮影されたニホンジカ)

林産物の安定供給

【課題】 木質バイオマス等の木材需要に対応した森林整備

【取組状況】

- ・ 県、森林組合、関係自治体等と木材の安定供給に向けた合理的な施業方法について、継続的に意見交換を実施。
- ・ 垂水国有林において、約600㎡の素材生産を行い、このうち約340㎡をバイオマス燃料用として供給。

【成果と今後の課題】

- ・ 民国が連携した森林整備等の取組について、県、森林組合、関係自治体等との合意形成を実施。



(間伐材の搬出)

治山対策の推進

【課題】 手取川濁水事案 (新規)

【取組状況】

- ・ 森林管理署長をチームリーダーとする対策プロジェクトチームを設置、応急工事を始めとする各種対策の検討や、関係機関との連絡調整を実施。

【成果と今後の課題】

- ・ 応急対策の効果の検証。有識者の助言を得ながら今後の対策を検討。



施工面積	約10ha
飛行回数	約730回
浸食防止剤散布量	約310 t
土留工使用石量	120袋

(応急対策実施箇所)